

◎ 定例会 「花々を楽しむ」 4月4日(木)曇り 参加者17名

～花曇りの中、神代植物公園で春の花々を楽しみ、深大寺を参拝しました!～

大泉学園、石神井公園駅からそれぞれバスで吉祥寺に向かい、合流して更にバスで神代植物公園に行きました。

東京都立神代植物公園

同公園は深大寺の旧寺領内にある。天台宗の庭園であり、植えてある木々にも風情がある。大温室ハウスは、暖かい地域の木々・草花があり写真のスポット。

外に出ると、満開の山桜、七分咲きの染井吉野。バラ園はまだ咲いていないが低木に植えて、広い空間を演出する独特な手法。

花々の好きな女子も多く、ユリ科の小さな黄花を見つけて感激する人あり。皆さんの楽しそうな顔を見て、来て良かったと思いました。涼しげな一日。



深大寺

663年、法相宗(ほっそうしゅう)の寺院で奈良仏教系。大本山は興福寺。飛鳥(あすか)・白鳳(はくほう)時代に、東国に派遣された僧が開創した。平安時代859年に、深大寺は天台宗に改宗する。860年頃に武蔵の国司が反乱を起す。56代清和天皇(清和源氏の祖)は、修験(しゅげん)の達者な僧を東国に送り、逆賊降伏の

密教修法で平定させた。天皇は近隣七ヶ村を深大寺に寄せられた。



ご参考(仲 私見)

明治時代に、日本古来の文化財の保護活動をした二人岡倉天心：東京大学卒、美術行政家、思想家。アメリカ人アーネストフェノロサ：東洋美術史家。二人で日本美術を評価し、世界に紹介すること

に努めた。

植物公園、深大寺を回った一行は13:30頃深大寺山門前で解散。各自蕎麦屋に向かう。湧水の流れる庭を眺めながら、日本酒を一本。風は爽やか。



< 報告：仲政雄 >